

【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

活動日時	2025/10/18 (金)
クラス	4歳児 ぱんだぐみ

① 年間テーマ	自然
---------	----

② 活動内容 (ねらい)	親子遠足に参加し、自然と触れ合う体験をする
--------------	-----------------------

子どもの姿

さつま芋掘りでは親子で掘っていき、さつま芋が見えてくると嬉しそうに周りの大人や友だちに伝えていたり、たくさん収穫できると喜んで見せ合う。

③ 環境のデザイン	大型バス・入園料・芋掘り代・レジャーシート・クラス携帯・お弁当・軍手
-----------	------------------------------------

④ 活動実践	大型バス2台を借りて、クラスごとに親子でむさしの村に行く。お芋ほり体験を親子で行い、収穫の喜びや協力することの大切さを共に学ぶ。土の感触や土から出てきた虫にも興味を持ち、親子で会話を楽しむ。
--------	---

子どもの言葉・姿・保育者とのかかわり等

【バス】

行きは、保育者が酔わないように座席を配慮し設定したりバスレクをしたことにより、体調がすぐれない様子も無く、皆楽しく過ごせていた。帰りは、休憩が取れるようカーテンを開けていたのでリラックスをしながら安全に帰ることが出来た。

【さつま芋掘り】

親子で三株掘り、収穫をたのしんでいる。土を触るのが苦手な児もいたが、親がお芋を掘っているのを見て興味湧き、「やってみよう！」という気持ちが芽生えていた。大きなお芋が収穫できると保育者に見せに来たりお友達同士で大きさを比べたりする様子も見られる。

【お弁当】

芝生の上にレジャーシートを敷いて、親子で会話をしながら楽しそうな雰囲気の中で各自持ってきたお弁当を食べる。

【自由遊び】

あらかじめ有料の乗り物や売店は禁止と伝えておいたので、こどもは芝生に寝そべったり園内を走り回ったりしながら自由なひと時を楽しむ。親子の関わりを大切に、保育者は見守りつつ親子で過ごせる時間を作る。



⑤ 振り返り (保育者の気づき)

入園門からお芋畑までの道のりが長い為、親に抱っこを求める子もいたが、畑につくまでしっかり歩いている児が多く見られ、たくましさを感じた。また、「〇〇があるね〜」「こっちもみて〜」等、周囲の景色にも興味を持ち楽しんでいる様子があり、自然に目を向けている場面がたびたび見られた。遠足のお知らせとお願いの手紙を配ったり、保護者会等で「自然と触れ合うことが目的」ということを説明していたが、当日乗り物券を買っている家庭もあったので、次回は行きのバス内でも説明をしていこうと思う。